

ひとり いちだい たんまつ 1人1台端末でのトラブルについて

ひとり だい くぼ たんまつ がくしゅう てだす たいせつ どうく
1人に1台ずつ配られた端末は、みなさんの学習を手助けするための大切な道具です。しかし、
くぼ たんまつ がくしゅういがい つか
配られた端末を学習以外のことに使って、トラブルになってしまうこともあります。

つか かた まちが お 使い方を間違うと、こんなトラブルが起きてしまいます

とも ・友だちのIDやパスワードでログインする



たんにょうび
A子の誕生日で
ログインできた！



A子のふり
して、B子
わるくちか
の悪口書い
てやろう！



A子@xxx
B子むかつく！

とも
友だちのIDやパスワードを使って勝手にロ
グインし、他の友だちの悪口を書きこんだり
すると、いじめやけんかなどになることがあ
ります。他の人に知られないよう注意しま
しょう。

ちょうじかんりよう ・つい長時間利用してしまった



いっほん
もう一本
どうがみ
動画見て
ねよう





ちょうじかんつか すい
インターネットを長時間使っていると、睡
眠時間が短くなり、みなさんの健康や成長に
わる えいきょう で
悪い影響が出てしまいます。さらに、学校で
じゅぎょうしゅうちゅう
授業に集中できなくなってしまいます。

ほか ひと かって つか ID・パスワードを他の人に勝手に使われないようにするために

- ほか ひと
・他の人がかんたんにわかるようなパスワードは使わない
(自分の名前やあだな、誕生日などを使ったもの)
- ほか ひと おし
・自分のID・パスワードを他の人に教えない、他の人のID・パスワードは絶対に使わない

ちょうじ かん りよう 長時間利用をふせぐために

- たんまつ りようじかん かぞく はな あ つく
・端末の利用時間について家族で話し合い、ルールを作る

れい ルールの例

- にち じかん つか
・インターネットは1日〇時間までしか使わない
- よる じ たんまつ つか
・夜〇時をすぎたら、端末を使わない



たんまつ がくしゅう くほ
端末は学習のために配られたものです。ゲームなど他の目的で使わないよ
うにしましょう。

学習用端末に係るトラブルについて

1人に1台ずつ学習用端末が配られ、みなさんもインターネットを利用する機会が増えてきたのではないのでしょうか。欲しい情報をすぐに入手できるなど便利な反面、使用方法を誤ると、さまざまなトラブルの原因になります。

トラブルと、その危険性

| | | |
|--|---|---|
| <p>①他人になりすまして、他の友だちの悪口を書き込む</p>  <p>いじめやけんかなどに発展することがあります。また、他人のID・パスワードを使ってアクセスすると、犯罪行為となります。</p> | <p>②撮影禁止場所で友だちととった写真をSNSに投稿</p>  <p>自分や友だちの個人の特定につながる可能性があります。また、投稿を見た人から非難のコメントが集まる可能性があります。</p> | <p>③災害時に、誤った情報を拡散してしまう</p>  <p>レスキュー隊のような服を着た窃盗グループが被災地に入っています。犯人の車のナンバーは ●●-●● #拡散希望</p> <p>誤った情報が広まり、被災地の人たちが混乱してしまう可能性があります。</p> |
| <p>④インターネットの長時間利用が習慣になってしまう</p>  <p>睡眠時間がけずられて、健康や成長に悪影響が出たり、授業に集中できずに成績が下がったりすることがあります。</p> | <p>⑤インターネット上の著作物を無断で使用</p>  <p>この写真いいなあ。SNSのアイコンに使おう!</p> <p>他者の著作物を無断で使用すると、著作権の侵害になり、場合によっては罪に問われることもあります。</p> | <p>⑥あやしいメールやメッセージをつい開いてしまう</p>  <p>端末がウイルスに感染したり、個人情報被盗まれたりする可能性があります。</p> |

上記のようなトラブルに巻き込まれる危険性を減らすための対応策の例

- 他人から推測されづらいパスワードを設定する（サービスごとに異なるパスワードを使う）
- 他人にID・パスワードを教えない、他人のID・パスワードは絶対に使わない
- 施設などで撮影するときは、事前にその場所が撮影禁止になっていないか確認する
- 撮影する際、また撮影した写真や動画をSNSなどに投稿する際は、必ず対象者の許可を得る
- 投稿する前、自分や友人の個人につながる情報がないか確認する
- 他人に見られても大丈夫なもの、将来的にデータが残っても大丈夫なものしか投稿しない
- 正しいかどうか分からない情報は拡散しない
- インターネットを使って情報を集めるときは、情報の提供元が信用できるか、古い情報ではないかを確認する（確認できない場合、信用しない）
- 学校や家庭でインターネット利用に関するルールを作る
- 作成した人の許可なく、著作物を使用しない
- あやしいメールやメッセージは開かずに削除する



不適切な端末の利用は、いじめや各種トラブルに結びつくことがあるため、自身の利用状況を見直してみてください。

学習用端末に係るトラブル事例とその対応策

1人に1台ずつ学習用端末が配られ、学校での授業や、子どもたちの家での学習の仕方に変化してきているのではないのでしょうか。しかし、子どもたちが端末の使い方を誤ると、さまざまなトラブルの原因につながるおそれがあるので注意が必要です。

トラブルと、その危険性

| | | | |
|---|---|---|---|
| <p>① 友だちになりすぎて、インターネット上のサービスを利用</p>  | <p>② 撮影禁止場所で撮影した写真を投稿</p>  | <p>③ 個人に関する情報をSNSに投稿</p>  | <p>④ あやしいメールやメッセージの開封</p>  |
|---|---|---|---|

いじめやけんかなどに発展する可能性があります。また、他人のID・パスワードを使ってアクセスすると、犯罪行為となります。

投稿を見た人たちから、非難のコメントが集まる可能性があります。また、不適切な投稿は犯罪行為となる可能性があります。

個人を特定される可能性があります。また、個人情報が悪用されたり、つきまといなどの被害にあったりすることがあります。

端末がウイルスに感染したり、本人だけでなく、友人の個人情報等を盗まれたりする可能性があります。

| | | |
|---|--|---|
| <p>⑤ 災害時にインターネットに投稿されたデマを拡散</p> <p>□□の爆発により、○○地方で有害物質を含んだ雨が降ります！ #拡散希望</p>  | <p>⑥ インターネットの長時間利用が習慣となる</p>  | <p>⑦ インターネット上の著作物の無断使用</p> <p>この番組録画してSNSに投稿しよう♪</p>  |
|---|--|---|

誤った情報が広まり、被災地の人たちが混乱してしまう可能性があります。

健康や成長に悪影響が及ぶほか、授業中に集中できず、成績が下がったりすることがあります。

他者の著作物を無断で使用すると、著作権の侵害となり、場合によっては処罰の対象となります。

トラブルを防ぐ対応策の例

- 他人にID・パスワードを教えさせない、他人のID・パスワードを絶対に使わせない
- 他者から推測されづらいパスワード(成長の段階に応じて、個人に関する情報を含まない・8文字以上の長さ・大小の英字と数字、記号を組み合わせる等)を設定させる
- インターネット上でのやり取りは、匿名性があるように見えるが、個人の特定が可能であることを教える
- 個人が特定される画像や裸に近い写真をSNSに投稿することは、大変危険であることを教える
- ネット上で知り合った人は、知らない人と同じである(信用できない)ことを教える
- 学習用端末で使用するアカウントは、アプリやサービスの利用登録など私的利用をさせない
- インターネットには嘘や間違った情報がたくさんあることを教える
- インターネットやオンラインゲームには、依存性があることを教える
- オンラインゲームの課金は、保護者が管理する
- インターネット上に無許可で投稿された著作物を、それと知りながらダウンロードすることは違法であることを教える
- 家庭で子どもたちと話し合い、インターネット利用に関するルールを作成する(作りっぱなしにはせずに、必要に応じて、適宜ルールの見直しを行う)

インターネットのトラブルに巻き込まれないための対策を、子どもと一緒に考えましょう。